

第5号
発行
2003年
5月15日
本郷ふじやま公園
運営委員会

本郷ふじやま公園を見学して

中野町内会会長 中野淳三

4月22日(火)に、本郷第三地区・町ぐるみ健康づくり委員会(参加者40名)で本郷ふじやま公園を歩きました。当日はお天気もよく、長屋門の前に来たとき左手に白雪に飾られた富士山がはっきりと見え、皆が歓声をあげました。素晴らしい眺めでした。

旧小岩井家の歴史や建物の特徴などを詳しく説明していただき、古民家の暮らしを偲びながら、ほっとした一時を過ごしました。簡単な準備運動の後、竹林を抜け、ふじやま山頂に立ち、富士講の石碑を見学しました。

長い階段を下り弓道場を見学、端正な動作と緊張感あふれる射の一瞬を堪能させていただきました。気力と体力と心を乗せて矢は走るのだそうです。

もう一度階段を上がって古民家で解散。階段は見た目ほど急ではなく道を作った人の心遣いを嬉しく思いました。昼近くでしたが、富士山がまだはっきりと見えていました。



スケッチは栄区庄戸在住の秋山純子さんの作品

旧小岩井家の家歴

古民家歴史部会 木島健司

この古民家は、ふじやまの西側山裾に建っていた小岩井家の住居です。同家は鎌倉幕府創設以来同地に住まわれ、46代続いた旧家と言い伝えられています。

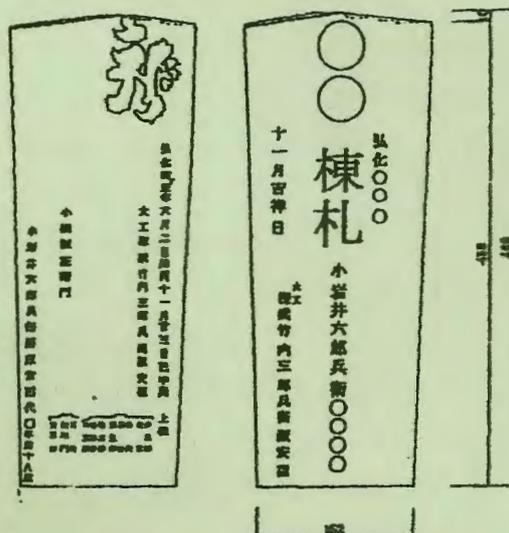
この建物は1847年(弘化4年)に建てられたと記録された棟札が発見されています。それまで何回か建て替えられていたと推測されますが、その都度、材木が使い廻されてきたと思われる痕跡が各所にありますので相当に古い材木が残っていると考えられます。部材を科学的に調査し、年代を検証できれば新しい発見があるかも知れません。

上記棟札と一緒に一石一字経の由来を書いた札が発見され、大黒柱の下から法華経のほぼ全文が書かれた小石が6万数千個発見されました。当主の信仰心の深さが伺われます。

弘化2年(1845)のアメリカ船来航の絵図が残されており、当時の慌しい様子がよくわかります。

嘉永6年(1853)ペルリーが来航し一行を久里浜足止めするが、万一江戸に向くことになった場合、同家を休憩所に使おうと触れがあり急遽座敷を手入れしたと伝えられています。幸い久里浜から出ることはなかったが、もしもペルリーが休憩に立ち寄っていたら、同家の歴史に一大エピソードを画していたでしょう。

同家建築年代を記した棟札および一石一字経の由来を記した札の実物大カラー写真、弘化2年のアメリカ船来航絵図のコピーを古民家内蔵に展示しております。



大黒柱上部の古大黒柱南面に和釘止めされていた棟札：弘化四年(1847)

参加者に満足していただけたタケノコ掘りイベント

里山部会 宗森英夫

4月12日(日)に開催した「親子タケノコ掘り体験イベント」には、27家族86名(応募数・47家族122名)が参加し、スタッフ25名を加えると110名を超えるおがかりなイベントになりました。参加した全家族が数本ずつのタケノコを掘り、楽しみました。昼食時には、タケノコ汁とワカメ・タケノコの煮物が用意され、舌鼓をうつことができました。取材に来ていたタウンテレビ南横浜のスタッフも大忙しでした。9チャンネルで4/21~4/26に放映されたので、ご覧になられた方も多いと思います。

新緑の下で農作業

～夕空に新樹の色のそよぎあり けん二～

農芸部会 遠山 隆

風薫る季節になりました。うっすらと芽吹き始めた木々も、またたく間に色も形も異なる若葉になり緑の色を豊富にしています。自然に囲まれた公園の花壇は4月に入り大分形を整え、購入したものもありますが部会員たちの丹精をこめた草花が植え込まれました。

その中であって、公園の整備中に一時疎開していた「ふじやまのエビネ」が仮の場所を得て4月下旬から咲き出しました。古老のお話によると昔はこの地に多く自生していたとのこと。

畑も若葉の生長に合わせるかのごとく土づくりが終わり、4月には里芋類・生姜の植付け、落花生の播種、青ジソ・赤ジソ・藍などの種蒔きを、そして5月にはサツマイモの苗を植え付けます。

古民家での暮らし、お月見や収穫期の行事に役立てることができたら、その合間には私たちの疲れを癒してくれたらと期待を先行させて賑やかに語り合いながら活動しています。



「ふじやまのエビネ」



七宝焼体験教室を終えて

工芸部会 小澤静子

1月に申込みされた生徒の方々の七宝焼アクセサリ作りが3月と4月に分けて工作棟で行われました。ほとんどの人が初めての体験でした。1回目は釉薬の載せ方が大変そうでしたが、2回目になると随分手馴れてきていました。出来あがった作品に歓声を上げたり、直ぐに出来映えを確かめたり、皆とても楽しそうでした。ここで知り合った人と「又、やってみたいね」などと話ができていました。手作りの楽しさと、友達づくりの輪が広がればいいなと思いました。

工作棟7月教室のご案内

教室名	開催日時	定員	内 容	材料費
七宝焼教室 担当 小澤 894-0512	7月10日(木) 13:00~16:00	10名	マーブル技法	500円
刺し子教室 担当 頭川 894-0983	7月16日(水) 13:00~16:00	12名	なべつかみ 2ヶ	1,000円
遊布教室 担当 萬矢 893-9334	7月23日(水) 13:00~16:00	12名	役立つぬいぐるみ達 (炭やハーブと共に)	1,000円

申込:往復ハガキに教室名、住所、氏名(復にも同じ)、電話を記入して本郷ふじやま公園へお申込ください。(応募者多数時抽選)

申込期間:6月2日(月)~6月27日(金)必着

七夕祭りとししソーメン

20数本の大七夕飾りと古民家の中庭を回遊する流しソーメン

- 6月28日(土) 9:30~12:00

七夕飾りづくり、竹筆づくり(竹で筆を作り短冊に文字を書きます)

場所:工作棟、材料、工具は用意しています。[自由参加、無料]

- 7月5日(土)《雨天の場合、7月6日(日)に延期》

※会場設営の準備をお手伝いして下さる方を募集しております。

9:30~七夕飾り付け(6/28に作ったものを竹につける)

11:00~ソーメン流し(ソーメン券200円は当日公園事務所でお求め下さい。

先着200名様)

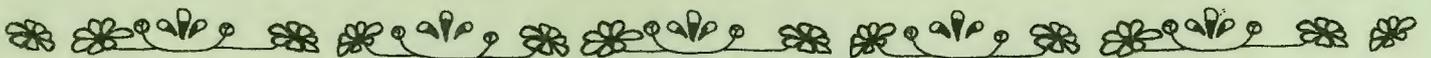
13:00~「いろいろ端」で紙芝居

※七夕祭りで楽器演奏をしてくれるグループを募集しております。

詳細は本郷ふじやま公園へ(応募要項を用意しています)

申込:電話896-0590 FAX896-0593

締め切り:6月20日(土)まで(選考の結果は6月30日までにお知らせします。)



古民家ゾーンご利用案内

■開館時間:午前9時~午後5時

■休館日:毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

■入館料:無料

○本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 鍛冶ヶ谷1-20

電話896-0590 FAX896-0593

○緑政局中部公園緑地事務所

電話711-7802 FAX712-6260